

第 3 次

佐倉市スポーツ振興基本計画(素案)

～スポーツシーンのあるまちづくり～

平成20年 月

佐 倉 市

佐倉市スポーツ振興基本計画の策定に当たって

佐倉市では、「歴史・自然・文化のまち」を将来都市像に掲げ、都市としての自立性を高めるとともに、市民一人ひとりが心豊かに、生き生きと暮せる、活力にみちたまちを目指した、「第3次佐倉市総合計画・後期基本計画（計画期間：平成13～22年度）」に基づき、まちづくりを推進しています。

また、基本計画の中に、「思いやりと希望にみちたまちづくり」を掲げ、誰もが安全で、安心して暮らせる住みやすい地域で、生き生きとした生活を送ることができるよう、「生涯を通じた健康づくり」を推進しています。

このため、市民が生涯を通じて健康づくりに取り組めるよう、健康の保持・増進のための意識啓発、生涯スポーツの推進、保健事業の充実などあらゆる側面から、支援や基盤整備を推進しています。

少子・高齢社会の進行、地球温暖化による深刻な環境問題、高度情報化の進展、教育改革など、様々な分野で私たち市民を取り巻く社会環境が大きく変化しています。こうした急激な社会環境変化のなか、市民ひとりひとりがゆとりと潤いのある豊かな生活や生きがいを求めるようになり、市民のスポーツに対する関心を一層高め、スポーツに対するニーズや目的、内容も高度化・多様化してきています。

そこで国では、長期的・総合的視点から国が目指すスポーツ振興の基本的方向を示す、「スポーツ振興基本計画」を平成12年に作成しました。佐倉市におきましても、佐倉市教育委員会が平成9年4月に「佐倉市スポーツ振興基本計画」、平成15年3月に「第2次佐倉市スポーツ振興基本計画」を策定し、総合的なスポーツ振興の具体策を明らかにしてきました。

さらに、千葉県では、平成22年度に第65回国民体育大会が開催されます。佐倉市は、レスリング競技、カヌー競技、公開競技としてターゲット・バードゴルフの会場となっており、現在、開催に向けた準備を進めているところです。

このような背景のもと、これからの佐倉市のまちづくりの方針として、「暮らしやすい生活環境の整備」ととらえ、生活習慣病や高齢化に伴う疾病・傷害の予防等、健康生活保持増進対策を推進することとしています。さらには、高齢者をはじめとした市民の健康保持、病気やけがの予防のために、各種スポーツを誰もが日常生活の一部として取り入れられるようにします。

そこで、「第3次佐倉市総合計画・後期基本計画」など、関連計画及び関係各機関との整合性を図り、スポーツ振興法第4条第3項の規定に基づく、「第3次佐倉市スポーツ振興基本計画」（目標年度：平成24年度）として策定しました。

平成20年 月

目 次

1. 佐倉市の現状と課題	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画の期間	3
4. 基本理念	3
5. 基本方針	4
6. 計画の目標	4
7. 進捗の把握・計画の見直し	4
8. 施策の体系	5
9. 施策の内容	6
Ⅰ. スポーツ振興施策の推進体制を整備します。	
【1】スポーツ振興基本計画の策定	
【2】各種スポーツ団体、レクリエーション団体等の育成・活動支援	
(1) 各種スポーツ団体、レクリエーション団体	
(2) 佐倉市体育協会	
(3) 総合型地域スポーツクラブ	
【3】指導者の育成・充実	
Ⅱ. スポーツに親しむ環境づくりをします。	
【1】市民の生涯スポーツニーズの把握・多様な機会の提供	
(1) 市民ニーズに対応した多様な事業の提供	
(2) トップアスリート教室	
【2】体力・運動能力推進事業	
【3】指導者の育成・充実	
Ⅲ. 健康づくりを目的としたスポーツを推進します。	
【1】健康づくり事業	
Ⅳ. スポーツに関する知識・情報を提供します。	
【1】スポーツ情報の提供	
Ⅴ. スポーツ施設の整備・改善をします。	
【1】スポーツ施設の整備・改善と調査・研究	
Ⅵ. 学校スポーツ施設の開放を推進します。	
【1】学校体育館施設の開放促進	
Ⅶ. 施設利用の効率化を図ります。	
【1】施設利用の効率化	
10. 資料編	16

1. 佐倉市の現状と課題

スポーツは、体力の向上や生活習慣病予防といった身体的効果だけでなく、ストレスを発散させ、精神的な充足感や楽しさをもたらすなど、心と体の両面にわたる健康を保持・増進するものです。

また、スポーツは、仲間や指導者との交流をとおしてコミュニケーション能力の育成や、思いやりや責任感などを育めるため青少年健全育成にも寄与しています。

さらに、スポーツを通じて市民の方々が交流を深めていくことは、希薄化した人間関係が指摘されている中、地域コミュニティ・地域社会の再生と、市民相互の人間的なふれあいを深めることによって、地域社会の活性化にもつながります。

近年における社会環境や生活環境の変化、都市化や利便性の進展により、市民の身体活動の機会が減少し、体力の低下や精神的なストレスの増大などが懸念される中、市民の健康づくりに対する関心や、スポーツに対する期待は高まっています。

こうした状況にあって、佐倉市では、佐倉市教育委員会が、平成9年度を基準年次として、スポーツ施策を総合的・体系的に一層推進するため、「スポーツシーンのあるまちづくり」を目標に掲げた「佐倉市スポーツ振興基本計画」を策定しました。また、平成14年度には第1回目の計画の見直しを行い、「第2次佐倉市スポーツ振興基本計画」を策定しました。

これらの計画に基づき、誰もが気軽にスポーツに親しめることを目的に、各種スポーツ教室や大会・交流会を開催し、「スポーツに接する機会の提供」を行ってきました。

また、運動施設の核となる岩名運動公園の整備を進めるとともに、小中学校の校庭や体育館、プールなどの学校体育施設の開放を推進し、身近なスポーツ活動の場の提供を図ってきました。

さらに、地域におけるスポーツ指導者である社会体育指導委員の充実やスポーツリーダーバンクの設置・活用など、「スポーツ指導者の育成・派遣」、佐倉市体育協会やスポーツ少年団、運動広場管理運営団体など「各種団体の育成」にも努めてきました。

その他、近年の多様化する市民のスポーツに対する期待や要望に対応するため、「総合型地域スポーツクラブの育成支援」などにも取り組んできました。

現在では、市内に複数のクラブが誕生し、地域におけるスポーツの普及および健康増進に協力を得ています。

市民がスポーツ活動を行う参加頻度については、平成16年度の市民意識調査によると、「週1回以上スポーツをする人」は25.3%と全体の4分の1程度でした。

また、平成16年3月策定の佐倉市健康増進計画「健康さくら21」によると、「成人で健康保持・増進のために意識的に身体を動かすことを意識している人・時々意識している人」は62%でしたが、成人で定期的な運動（週2日以上・1日3

0分以上)を実施している人は30.7%にとどまっています。

今後は、市民のスポーツに関する意識を高め、「自らがスポーツをする楽しみ」に加えて「観戦する楽しみ」、「応援する楽しみ」など多様なアプローチの仕方により、誰もが望む形で、生涯にわたってスポーツ活動に親しめる機会を提供する必要があります。

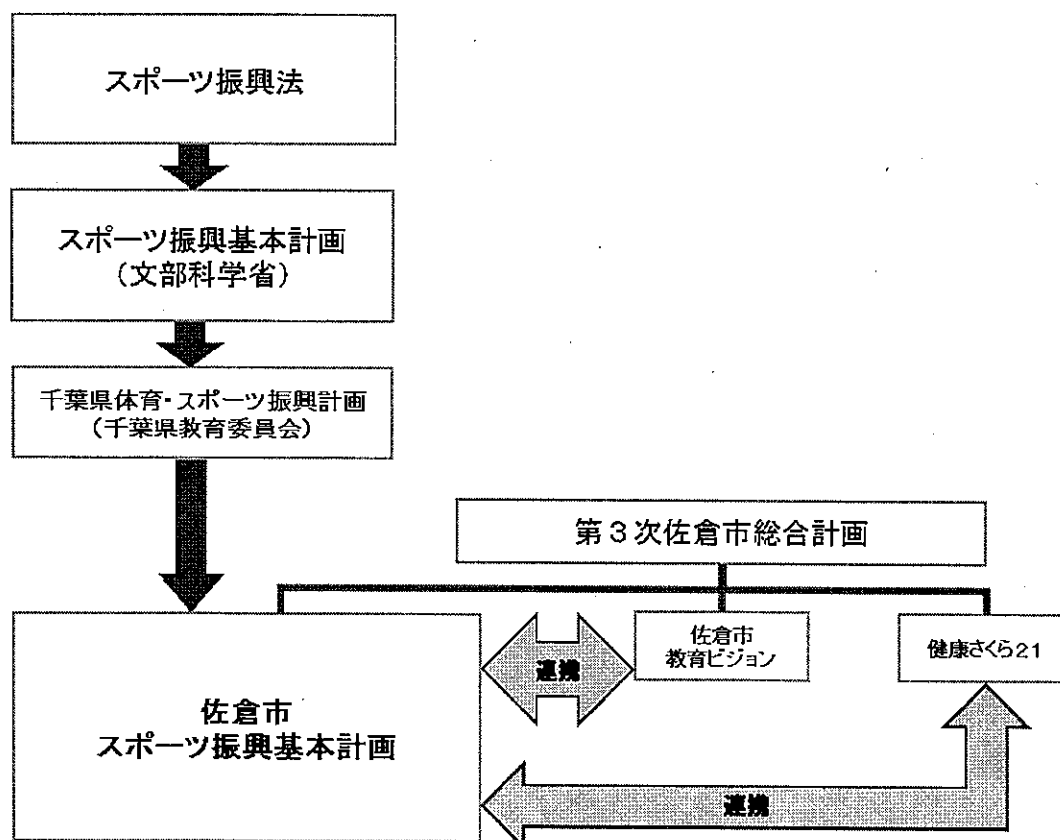
また、スポーツは、「人づくり・まちづくり」という効果もあることから、スポーツを通じて地域の活性化が図れるような体制を推進する必要があります。

さらに、「健康づくり」という観点も含めた生涯スポーツの普及と、健康増進・体力向上を図れる事業の展開や各スポーツ振興施策の推進にあたり、市民参加・市民参画を積極的に取り入れた、市民協働型事業を促進することも必要です。

2. 計画の位置づけ

本計画は、平成14年度に第1回目の見直しを行い策定した、「第2次佐倉市スポーツ振興基本計画」を基本に、「第3次佐倉市総合計画（後期）」を踏まえ、佐倉市の他の関連計画及び関係各機関との整合性を図りながら、スポーツ振興法第4条第3項の規定に基づいて、第3次佐倉市スポーツ振興基本計画を策定しました。このことにより、佐倉市のスポーツ振興の目指すべき方向性を示すものです。

第3次スポーツ振興基本計画に関わる計画体系図



3. 計画の期間

計画期間は、平成20年度から、平成24年度までの5年間とします。

4. 基本理念

『スポーツシーンのあるまちづくり』

スポーツは、人間が体を動かすという人間の本来の欲求にこたえとともに、爽快感、達成感などの精神的充足や楽しさ・喜びをもたらす効果があります。また、他者との連帯意識や規範意識の醸成等、集団活動を営むうえで基礎となる協調性や社会性を身につけられることにもつながります。さらには、青少年の人間形成や体力の向上、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康保持・増進に資するものです。

また、スポーツは、①遊戯性（遊び・楽しさ・笑い）、②闘争性（競争・競技）、③技術性（練習・研究）④社交性（コート内で交流）の4つの性質から構成され、その本質は遊戯性にあります。そしてスポーツが闘争性や技術性よりも、遊戯性や社交性を強調する身体活動（フィジカルレクリエーション）であることが、感性を柔軟で開放的にします。

今日の、社会環境の変化と相俟って、人々の価値観は、「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を追求するようになってきています。

これらのことを踏まえ、誰もが、いつでも、どこでも、生涯にわたりスポーツを気軽に楽しむことができる環境づくりを推進します。また、遊び・楽しみの要素の多いスポーツ・レクリエーションを、誰もが日常生活の一部として取り入れられるように図りながら、市民ひとりひとりが「心の豊かさ」を実感できるようなまちづくりを進めます。そこで、平成9年4月に、「佐倉市スポーツ振興基本計画」で掲げた、市内いたるところでスポーツ活動が行われている「スポーツシーンのあるまちづくり」を引き続き目標とします。

5. 基本方針

(1) 生涯スポーツの盛んなまちにします。

市民の多様化・高度化しているニーズにこたえるために、誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会を提供するため、各種スポーツ教室、スポーツ大会、交流会などの開催やニュースポーツの普及及び推進を図り、市民のスポーツ環境を整備します。

また、生涯にわたりスポーツとの関係が持てるよう、地域スポーツ活動の担い手を育成し、各種スポーツ団体等の育成を支援するとともに、地域でのスポーツ活動を促進してまいります。

さらに、多くの市民が、スポーツとふれあう機会を持てるように、スポーツに関する知識や情報を提供します。

これらのスポーツ施策が計画的、総合的に展開されるように努めてまいります。

(2) スポーツ施設の整備・充実をします。

体育館や運動公園などの基幹運動施設の整備・改善を行うとともに、学校体育施設の開放を促進して、施設利用の効率的な活用により、市民により多くのスポーツを行う場所を提供します。

6. 計画の目標

本計画は、基本理念として掲げた「スポーツシーンのあるまちづくり」に沿って、市民が、生涯にわたってスポーツを親しめる環境づくりを目指して、今後さまざまな施策を展開しながら、計画の推進を図ります。

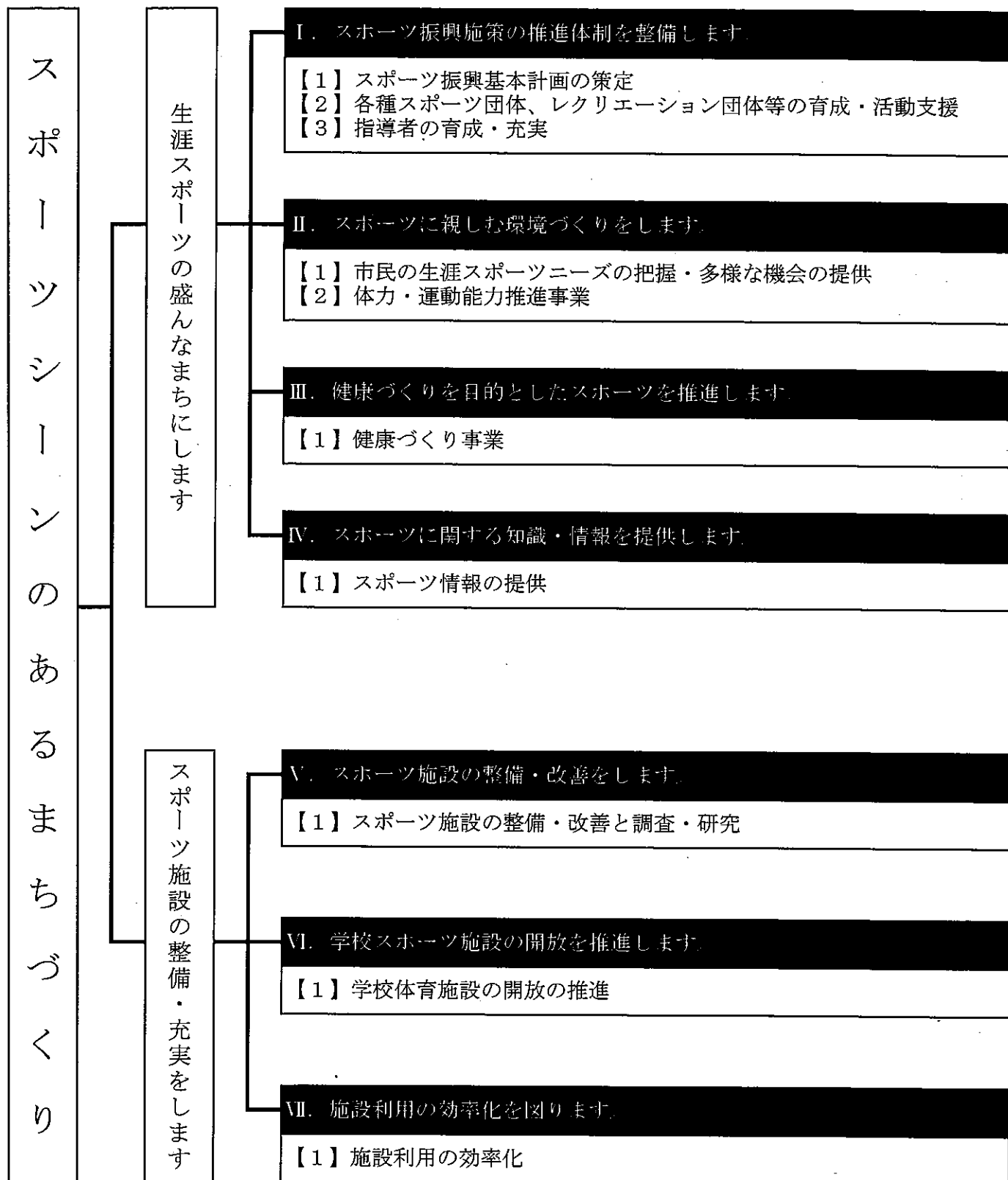
「1. 佐倉市の現状と課題」にあります、平成16年度に実施した市民意識調査では、「週に1回以上スポーツをする人」の割合は25.3%でした。国の「スポーツ振興基本計画」の目標では、生涯スポーツ社会の実現のため「できるかぎり早期に成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%となること」を目指しています。

本計画の目標につきましても、『成人市民の2人に1人が週に1回以上スポーツすること』を目指します。

7. 進捗の把握・計画の見直し

計画に基づく施策を効果的に、計画的に推進するため、スポーツ環境を取り巻く情勢の変化に応じるため、市民意識調査等により、進捗状況を把握し、必要に応じて、適宜計画の見直しを行いながら、「生涯スポーツ社会の実現」を目指します。

8. 施策の体系



9. 施策の内容

I. スポーツ振興施策の推進体制を整備します。

【1】スポーツ振興基本計画の策定

現 状：市民のスポーツに対する意識・関心を把握しながら、いち早く「佐倉市スポーツ振興基本計画」（平成9年4月）・「第2次佐倉市スポーツ振興基本計画」（平成15年3月）を策定し、総合的にスポーツの振興を図っています。

課 題：社会・生活環境の変化を背景に、ライフスタイルの個性化、多様化が進む中、生涯スポーツを楽しむ環境の整備が求められています。

施 策：平成19年度に既存の計画を見直し、「第3次佐倉市スポーツ振興基本計画」を策定します。また、計画に基づき、スポーツ振興施策の推進体制を整備し、総合的な生涯スポーツ社会の実現に取り組みます。

【2】各種スポーツ団体、レクリエーション団体等の育成・活動支援

（1）各種スポーツ団体、レクリエーション団体

現 状：市ではスポーツ少年団を始め、各種スポーツ団体、レクリエーション団体が活動しており、市内各地域でスポーツ活動等を行っています。

課 題：既存のスポーツ団体等は、指導者不足・役員の高齢化・組織の細分化などさまざまな問題を抱えています。

施 策：既存のスポーツ団体、レクリエーション団体などの現状把握に努め、組織の充実・強化に向けた支援を行うとともに、新規団体の育成にも努めます。また、それぞれの組織間の連携と交流を進め、スポーツを通じて、青少年の健全育成に努めます。

（2）佐倉市体育協会

現 状：佐倉市体育協会は、現在22専門部で構成され、佐倉市のスポーツ振興の中心的な役割を担っています。年間を通して各種大会や教室等を開催し、スポーツ活動の機会提供と普及を図っています。また競技スポーツの向上に対しても重要な役割を担っています。

課 題：今後、市補助金の削減やスポーツ施設の指定管理者制度導入などにより、佐倉市体育協会を取り巻く環境は非常に厳しいものになりつつある中で、同協会の体制強化・拡充と財政的基盤の確保が求められています。

施 策：佐倉市体育協会の更なる組織の強化・拡充並びに活性化に向けた支援を行います。

(3) 総合型地域スポーツクラブ

現 状：市内には、総合型地域スポーツクラブが複数あり、市民の多様化するスポーツに関する期待や要望に対応するため、スポーツ活動の機会を提供しています。

また、各種スポーツの大会や交流会、教室などの事業において、指導者としても活動しています。

課 題：既存の総合型地域スポーツクラブは、複数の種目があるとはいえ偏りがみられます。また、全市的領域で活動していますが、地域密着型という面では、課題が残ります。

また、市民のスポーツに関する主体性や受益者負担の概念に乏しい傾向がみられます。

施 策：①既存の総合型地域スポーツクラブが、さらに発展するためには、さまざまな世代が参加し、世代間交流を促進しながら、多種目のスポーツが行われるように支援します。

②総合型地域スポーツクラブの公益性を高め、地域の交流拠点として機能し、より魅力的なクラブ運営ができるように支援します。

③総合型地域スポーツクラブと既存の地域スポーツ団体との連携・協力が図れるよう支援します。

④総合型地域スポーツクラブの意義や必要性、効果を、市民への啓発活動を行いながら、市民主体の地域密着型総合型地域スポーツクラブ育成の環境整備を進めます。

※ 総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が主体的に運営するスポーツクラブで初心者から競技者まで、子どもから高齢者までの誰もが、それぞれのレベルなどに応じていつでも活動できるスポーツクラブです。

また、その活動の拠点となるスポーツ施設において、定期的・継続的に行われ、同時に質の高い指導者から個々のスポーツニーズに応じた指導が受けられるなどの特徴があり、全国各地に設立されています。

【3】指導者の育成・充実

現 状：現在、佐倉市社会体育指導委員として30名に委嘱しています。社会体育指導委員は、各種スポーツの主催事業の協力や地域でのニューススポーツの普及活動などを行っています。

千葉県ではスポーツ指導者制度があり、スポーツリーダーバンク・スポーツプログラマー・社会体育公認指導員の養成について周知及び参加を呼びかけています。

また、佐倉市では佐倉市教育委員会が、平成15年度より佐倉市スポーツリーダーバンクを設置し、市民スポーツ活動の需要に対応した指導者を派遣しています。

課 題：市民のスポーツに関する要求の多様化・高度化・専門化・個性化に伴い、単に技術的な指導のみならず、人間性も含めた、質の高い技術・技能を持つスポーツ指導者が求められています。

また、市民に千葉県のスポーツ指導者制度（スポーツリーダーバンク・スポーツプログラマー・社会体育公認指導員）や、佐倉市スポーツリーダーバンクについて周知が行き届いていないため、効果的に運用されていない現状となっています。

施 策：①佐倉市社会体育指導委員に対する研修会の開催や、社会体育公認指導員等の養成をはかり、指導力の向上と、地域でのニューススポーツ普及事業がさらに発展できるよう支援・育成します。

②スポーツ指導者に対する計画的な講習会の実施や、スポーツ活動の指導者登録・活用制度（佐倉市スポーツリーダーバンク）の運用等により、地域スポーツ活動の担い手を育成します。

③佐倉市スポーツリーダーバンク制度の更なる活性化を図るとともに、県スポーツ指導者制度を活用して、市民の生涯スポーツの取り組みに対応した、人材派遣制度を推進するとともに人材育成にも取り組みます。

Ⅱ. スポーツに親しむ環境づくりをします。

【1】市民の生涯スポーツニーズの把握・多様な機会の提供

(1) 市民ニーズに対応した多様な事業の提供

現 状：生涯スポーツの普及と市民の健康増進・体力向上を目的として、「さくらスポーツフェスティバル」・「ニュースポーツまつり」をはじめ、エアロビクス・気功などの健康教室や、各種生涯スポーツ事業を行っています。

競技スポーツについても、大会や競技会・教室等を年間通して開催しています。

課 題：現在、行っている事業・教室等が単発的・定型的な形態に偏る傾向にあり、参加者の固定化やスポーツを行わない方に対する配慮が求められています。

施 策：①市民の生涯スポーツに関するニーズを把握し、市民がスポーツに親しめる多様な機会を創出するため、各種市民スポーツ大会を開催します。

②市民がスポーツを継続的に行えるような環境を整えるために、魅力あるスポーツ教室を開催します。

③市民の多様なニーズに対応するため、市民が参加して、企画・運営から市民と協働して事業を行います。

④障害者や高齢者などのスポーツニーズを把握し、誰もが気軽にスポーツを楽しめるよう機会の提供等を図ります。

⑤スポーツをしない人もスポーツに親しめるよう、内容や運営に工夫・改善を加えて、市民が参加者・運営者、応援者、ボランティアなど様々な形で気軽に参加できるような機会の提供を図ります。

(2) トップアスリート教室

現 状：競技レベルの高いスポーツを目の当たりにすることは、人々に夢と感動を与え、生活を豊かにするとともに、市民が自らスポーツに取り組む意欲を高められることなど、スポーツの普及並びに青少年の健全育成を図るうえで有意義であると考え、平成16年度から有名選手によるトップアスリートスポーツ教室を開催しています。

- ・千葉ロッテマリーンズ少年野球教室（平成16年度）
- ・トップアスリートレスリング教室（平成17年度）
- ・トップアスリートバドミントン教室（平成17年度）
- ・トップアスリートソフトボール教室（平成18年度）
- ・トップアスリート卓球教室（平成19年度）

課 題：現状の教室・講座では、技術指導を受けられる人数に限りがあるため、観る人にも配慮した、内容・運営方法に工夫が必要となっています。

施 策：有名選手による競技スポーツ教室・講座を通じて、参加者のみならず、見学者にもスポーツの楽しさ・魅力を紹介するとともに、競技の技術向上や普及並びに青少年の健全育成と親睦を図ります。

【2】体力・運動能力推進事業

現 状：スポーツ少年団の体力テスト会や各種教室などにより、子どもから高齢者の体力・運動能力推進事業を行っています。

課 題：近年、児童・生徒の体力低下が著しく、佐倉市も例外ではなく低下傾向が見られます。最近では、子ども向けスポーツ教室などが増加し、幼年期からスポーツを楽しむ子どもが多くなっている反面、全くしない子の二極化が進んでいます。また、都市化、少子化などの社会環境変化に伴う子どもたちの遊びの変化により、日常生活において体を動かす機会が少なくなってきました。

また、高齢化の一層の進展が見込まれる中、高齢者においても、生涯を通じて健康な生活を送ることは、市民すべての願いでもあります。ただ平均寿命を延ばすだけでなく、大切なのは、健康で生き生き暮らせること、つまり健康寿命をいかに延ばしていくことが課題となっています。

施 策：いつまでも健康で、生き生き暮らし続けたい、それは誰しもが抱く大きな願いです。身体が元気になれば心も元気になりますので、子どもから高齢者までの体力保持・増進や、運動能力の向上を図る事業を推進します。

【3】学校体育の充実

現 状：近年、子どもたちの生活が多様化し快適になった影響から、体を動かす機会が減少し、体力や運動能力が低下する傾向が伺えます。併せて、活発に運動をする者としめない者との二極化も進んでいます。

この現状を受け、各小・中学校では、体育の授業や課外活動などで、児童・生徒が積極的に運動に取り組めるように指導を工夫し、十分な運動量が確保できる環境を整えることなどに取り組んでいます。

また、中学校では運動部活動を通して、より高い水準の技能の習得や記録に挑戦しています。この活動により、スポーツの楽しみや喜びを味わい、生涯にわたってスポーツに親しむ気持ちを育んでいます。

課 題：児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむための基礎的な体力を身につけさせていくために、個々の教員が運動特性などのより高い知識を身につけるとともに、指導方法の工夫改善を図っていくことが重要です。特に小学校において、体育指導の専門性を高めることが課題となっています。

また、運動部活動においては、活動量の適正化、顧問の実技指導力、部員数の減少、顧問の高齢化等の問題が指摘されています。今後、複数校合同による運動部活動の実施のあり方や、外部指導者を活用するなど、柔軟な運営のあり方等に研究を推進していく必要があります。

施 策：①各学校に体力向上推進委員会を設置し、児童・生徒の体力向上が計画的に図れるようにします。

②中学校教員の専門性を活用して、小学校教員を対象に実技指導研修会を行い、体育指導の充実を図ります。

③新体力テストを継続して実施し、児童・生徒の体力の傾向を把握し、さらに指導に生かしながら、児童・生徒の運動に対する意欲の向上を図ります。

④市内小学校5年生から中学3年生までの全学級参加による学級対抗リレー大会を開催し、体力の向上のみならず、学級の団結力を高める機会の提供を行います。

⑤「佐倉市小中学校各種大会選手派遣要領」を定め、児童・生徒が出場する各種大会の交通費等を補助し、体育活動を推進します。

⑥外部指導者の活用を推進し、野球・サッカー・陸上などの充実・強化を図り、市民に感動を与え地域が活性化するように支援します。

Ⅲ. 健康づくりを目的としたスポーツを推進します。

【1】健康づくり事業

現 状：スポーツは、私たちが本来有する運動本能の欲求を満たし、爽快感、達成感等の精神的充足と体力向上、精神的ストレスの解消、生活習慣病の予防など生涯にわたり、心身両面の健康保持・増進に寄与しています。

また、近年の「健康づくり」ブームにより市民の健康づくり、健康増進に関する意識・関心が高まってきており、「健康づくりのためのスポーツ活動」が期待されています。

課 題：健康づくりに対する意識・関心に対応するためには、健康部門関係部署と連携して、健康相談などを取り入れた事業が必要となっています。

施 策：①健康部門関係部署やその他関係各機関と連携を図りながら、多様化した健康志向に幅広く応えるため、スポーツの意義を広め、無理なく・楽しみながら、体力づくり・仲間づくりができる事業を推進します。

②スポーツ・レクリエーションは、遊び・楽しみの要素も重視し、中高年齢者や市民の健康保持、病気・けがの予防のために、誰もが日常生活の一部として取り入れられるようにしていきます。

③健康を意識した食育の実践やスポーツ栄養学の啓発を図ります。

IV. スポーツに関する知識・情報を提供します。

【1】スポーツ情報の提供

現 状：佐倉市の広報紙・ホームページ・チラシ等で、各種大会・教室・行事などの募集案内を行っています。

また、ホームページでは、大会結果まで掲載し、情報を発信しています。

課 題：近年、市民の健康・体力づくり、スポーツ・レクリエーションに関する関心は、高度化しており科学的根拠に基づいた、適切で効果的な健康づくりの知識・方法を求めています。また、スポーツ関係施設の照会、スポーツ行事に関する情報を容易に入手できる環境の整備が望まれています。

施 策：①健康、体力づくりを目的としたスポーツに対する関心が高まっていることから、映像等によりスポーツに関する知識や情報を提供し、健康の保持増進と体力の維持向上の啓発を図ります。
②スポーツ資料館を活用し、スポーツに関する情報提供を行います。

V. スポーツ施設の整備・改善をします。

【1】スポーツ施設の整備・改善と調査・研究

現 状：公共スポーツ施設として、岩名運動公園（陸上競技場・野球場・テニスコート・プール・土俵場）、上座総合公園（プール・自由広場）、大作公園（野球場）、直弥公園（テニスコート）、佐倉市立青少年体育館、佐倉市民体育館などの施設となっています。

課 題：佐倉市のスポーツ基幹施設は、岩名運動公園（昭和54年設置）、上座総合公園（昭和54年設置）、大作公園（昭和63年設置）、直弥公園（平成14年設置）、佐倉市立青少年体育館（平成元年移管）、佐倉市民体育館（昭和55年設置）と昭和50年代に整備されたものが多く、20年以上経過し老朽化が進むことから、高齢者・障害者対応のバリアフリー化などが課題となっています。

また、市民の多様なニーズに対応した、多目的な球技場の整備などが求められています。

施 策：スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、岩名運動公園の拡張整備や既存のスポーツ施設の改善を推進します。

また、佐倉市民体育館等の既存施設の適正な保守管理と有効活用に努めるとともに、新たな施設整備に向けての調査・研究を行います。

VI. 学校スポーツ施設の開放を推進します。

【1】学校体育施設の開放の推進

現 状：学校開放事業については、昭和51年に学校施設を市民スポーツ及びレクリエーション、学習、その他公共活動の場として開放することにより、市民の健康増進、情操の涵養及び教養の向上を図ることを目的に定められました。

佐倉市においても、学校開放に関する規則を制定し、管理指導員を配置するとともに、運営協議会等を随時設け、現在、市内小学校23校、中学校11校が学校教育活動に支障のない範囲で、各学校の体育施設（体育館・校庭）を開放しています。

課 題：学校完全週休2日制など時代の変化とともに、児童生徒の運動に対する期待や要望にも多様化がみられ、それに伴い学校体育施設もそれぞれのニーズに対応した学校開放が求められています。

また、近年の体力低下傾向に歯止めをかけるために、学校体育活動の充実が図れるような、スポーツ施設の整備を計画的に促進することが必要です。

一方、スポーツ人口の拡大に伴い、地域住民が日常的に行うスポーツ活動の場として、学校体育施設の重要度もますます高くなっていることから、地域におけるスポーツクラブの育成や活動の拠点としても、学校体育施設を活用していくことが必要です。

施 策：小・中学校の体育館・校庭などを、子どもたちのスポーツ環境の整備を図るとともに、市民の身近なスポーツ施設として安全で使いやすい学校開放を推進します。

VII. 施設利用の効率化を図ります。

【1】施設利用の効率化

現 状：施設の有効活用のため、一部指定管理者制度を導入し、効率的な管理運営を進めています。

課 題：急激な情報化の進展に伴い、市民が必要な情報を必要な時に、どこからでも利用できるシステムの確立が求められています。

施 策：施設の有効利用と効率的な管理運営を図るために、ホームページを活用するなど、情報のシステム化を進めます。

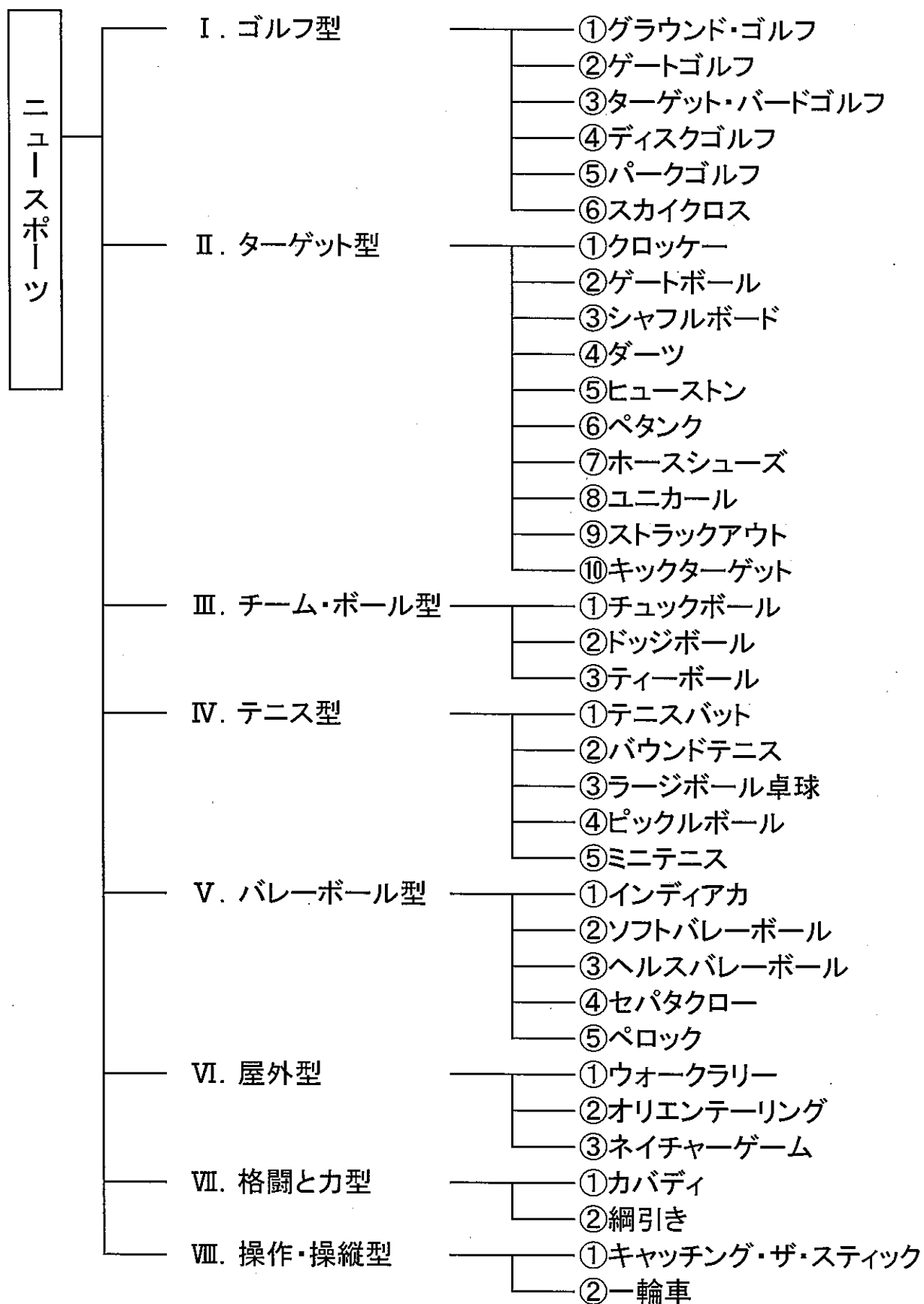
資 料 編

- 平成18年度社会体育事業実施状況
- ニューススポーツ一覧表（抜粋）
- 公共運動施設現況
- 佐倉市公共体育施設設置経過
- 平成18年度佐倉市民体育館利用状況表（月別：件数・人数）
- 平成18年度施設利用状況（月計表）
- 学校開放数
- 平成18年度学校開放利用状況
- 岩名運動公園現況図
- 直弥公園現況図
- 上座総合公園現況図

平成18年度社会体育事業実施状況

月	日	曜日	事業名	回数	参加チーム	延べ人数	会場
3	12	日	春季少年野球大会(～4/2)		22	630	岩名球場他
4	23	日	市民ソフトボール大会(～4/30)		20	300	岩名球場他
5	3	祝	春季市民野球大会(～7/2)		116	3,180	岩名球場他
	7	日	市民テニス大会(～5/14)			50	岩名テニスコート他
	7	日	佐倉市陸上競技選手権大会			330	岩名陸上競技場
	20	土	南関東中学校レスリング大会			75	市民体育館
	22	月	市民ゴルフ大会			200	佐倉カントリークラブ
	28	日	市民ソフトテニス大会			146	岩名テニスコート他
	31	水	気功・ヨガによる健康づくり教室(～7/5)	5		205	市民体育館
6	4	日	市民剣道大会			500	市民体育館
	11	日	市民卓球大会			200	市民体育館
	17	土	市民弓道大会			37	市民体育館
	18	日	市民バドミントン大会		55	110	市民体育館
	18	日	ターゲット・バードゴルフ体験教室			76	岩名陸上競技場
	24	土	市民バレーボール大会		24	200	市民体育館
	25	日	ニュースポーツまつり			141	市民体育館
7	1	土	第57回印旛郡市民体育大会(～7/23)			300	佐倉市他
	2	日	市民バスケットボール大会(～7/9)		28	400	市民体育館他
8	24	木	エアロビクス教室(～9/21)	5	28	101	市民体育館
	29	火	佐倉市近隣中学校柔道大会			480	市民体育館
9	10	日	市民水泳大会			220	臼井スイミングクラブ
	18	祝	第23回佐倉市少年サッカー選手権大会		66	690	岩名陸上競技場他
10	1	日	市民サッカー大会(～10/22)			360	岩名陸上競技場他
	6	金	女性のためのトレーニング教室(～10/27)	4	20	65	市民体育館
	9	祝	さくらスポーツフェスティバル			736	岩名陸上競技場
	22	日	子ども相撲大会			130	岩名運動公園
	22	日	市民空手道大会			700	市民体育館
11	12	日	第52回佐倉市制記念駅伝競走大会		44	240	岩名陸上競技場
	26	日	トップアスリートソフトボール教室			350	臼井中学校
	26	日	佐倉市インディアカ大会		19	122	市民体育館
12	3	日	第76回印旛郡市駅伝競走大会			348	岩名陸上競技場他
	23	祝	市民バウンドテニス大会			56	市民体育館
1	18	木	ピラティス教室(～2/15)	5		204	市民体育館
2	4	日	市民ボウリング大会			74	ユーカリボウル
3	25	日	第26回佐倉朝日健康マラソン大会			6,090	岩名陸上競技場他

ニュースポーツ 一覧表(抜粋)



公共運動施設現況

平成19年12月末現在

名 称	施 設	所在地	規模・面積
岩名運動公園	陸上競技場	岩名字姿山	19,150㎡, 全天候第3種公認, 400mトラック8コース, メインスタンド1,022名収容
	岩名球場	岩名字姿山	12,000㎡, 両翼92m・センター120m, メインスタンド2,000人・芝生スタンド5,000人収容, 夜間照明
	岩名第2球場	岩名字姿山	7,098㎡, 両翼84m・センター90m
	わんぱく広場	岩名字姿山	1,265㎡
	自由広場	岩名字姿山	6,197㎡, 全面芝生
	土俵場	岩名字姿山	49㎡, 屋根付き
	プール	岩名字姿山	50m・9コース(1,000㎡), 幼児プール(384㎡), スタンド300人収容
	庭球場	岩名字姿山	3,740㎡, 全天候型6面, クレーコート2面, 練習コート
	スポーツ資料館	岩名字姿山	鉄筋コンクリート2階建, 床面積約309㎡, 展示・映像・図書・健康管理各コーナー1F, 研修室(50名収容)
	自由広場	上座上ノ田915	20,000㎡, ソフトボール2面, ラグビーポスト一対, サッカーゴール一対
上座総合公園	プール	上座上ノ田915	25m・8コース(425㎡), 子供プール(377㎡), 幼児プール(129㎡)
大作公園	大作球場	大作1-1-2	10,156㎡, 両翼80m・センター105m
直弥公園	テニスコート	直弥741-1	42,782.28㎡(公園含む), 全天候型人工芝4面, 管理棟135㎡
佐倉市民体育館	第1競技場	宮小路町3	床面積6,473㎡, 第一競技場1,728㎡, 館内高さ13m, 事務室・会議室・健康相談室・更衣室男女各2, 観覧席958席
	第2競技場	宮小路町3	319㎡, 156畳, 師範席, 器具庫
	第3競技場	宮小路町3	319㎡, 師範席, 器具庫
	卓球場	宮小路町3	138㎡, 3台
	弓道練習場	宮小路町3	3人立, 近的, 夜間照明
	トレーニング室	宮小路町3	138㎡, バーベルセット, ステアマスター・ラポード・シールド・プレス・レッグプレス・アッパーパーバックステーション・ワンハンドステーション・チェストマシン・スミスマシン・ベンチプレス各1台, エアロバイク4台
	佐倉市立青少年体育館	江原新田54	床面積345㎡, 更衣室(男女), 器具庫
	サンセットヒルズテニスコート	飯野27	全天候型人工芝4面

佐倉市公共体育施設設置経過

年数	年度	体育施設等	備考
1	昭和 54	岩名運動公園(陸上、テニス、野球場)上座公園プール開設	郡市民体育大会開催
2	55	佐倉市民体育館開館	
3	56	岩名運動公園プール開設	
4	57	佐倉市民体育館弓道練習場増設	
5	58	岩名運動公園岩名球場スタンド改修	
6	59		
7	60		
8	61		
9	62	大作公園テニスコート(県企業庁より移管)	郡市民体育大会開催
10	63		
11	平成 元	青少年体育館(佐倉高校より移管)	県民体育大会開催(成田市)
12	2		
13	3		
14	4	岩名運動公園岩名球場ナイター照明設置	
15	5	大作公園野球場(県企業庁より移管)	
16	6		
17	7	岩名運動公園陸上競技場全天候型走路改修・佐倉市民体育館外装改修	
18	8	岩名運動公園陸上競技場メインスタンド建設 根郷中学校・臼井南中学校プール上屋設置	県民体育大会開催(佐倉市)
19	9		郡市民体育大会開催
20	10		
21	11		
22	12	スポーツ等多目的施設用地購入	
23	13	佐倉市民体育館トレーニング器具入れ替え	
24	14	岩名運動公園内クロスカントリコーコース整備 金メダルジョギングロード整備 直弥公園庭球場開設(全天候型人工芝4面)	
25	15	岩名運動公園庭球場改修(全天候型人工砂入り芝6面)	
26	16	佐倉市民体育館改修	郡市民体育大会開催(主会場・4種目)
27	17	岩名運動公園土俵場(佐倉青年会議所より寄贈)	全国高等学校総合体育大会開催(千葉県)
28	18		郡市民体育大会開催(3種目)
29	19		

平成18年度 佐倉市民体育館利用状況表(月別:件数・人数)

月	アリーナ(第一競技場)		剣道場(第二競技場)		柔道場(第二競技場)		卓球室		トレーニング室		弓道場		会議室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	117	3,430	68	1,292	53	1,309	53	154	225	268	84	430	12	241	612	7,124
5	114	3,183	62	1,058	51	1,349	81	222	285	363	103	394	9	293	705	6,862
6	106	7,094	66	1,236	56	1,397	58	154	284	342	92	429	11	406	673	11,058
7	97	5,800	67	1,230	56	1,294	54	135	308	344	90	501	8	143	680	9,447
8	108	4,348	54	979	38	541	64	178	351	341	111	519	5	95	731	7,001
9	121	3,882	76	1,539	63	1,327	49	133	284	320	113	440	10	205	716	7,846
10	108	5,002	60	1,110	55	1,192	47	119	250	390	114	370	4	173	638	8,356
11	113	3,930	71	1,634	56	1,136	46	127	258	297	122	504	13	282	679	7,910
12	97	2,810	53	1,001	55	1,259	31	175	215	249	72	382	5	205	528	6,081
1	103	3,446	58	1,000	56	1,378	51	134	230	276	92	369	5	92	595	6,695
2	119	4,056	58	1,070	50	1,274	47	130	261	306	83	375	8	102	626	7,313
3	133	5,170	71	1,255	49	1,147	46	133	246	300	80	420	9	226	634	8,651
合計	1,336	52,151	764	14,404	638	14,603	627	1,794	3,197	3,796	1,156	5,133	99	2,463	7,817	94,344

平成18年度施設利用状況(月計表)

月別	岩名運動公園										直弥公園				大作公園				青少年体育館				スポーツ資料館				青少年センター				市営プール				合 計	
	テニスコート		野球場		野球場照明		陸上競技場		テニスコート		野球場		テニスコート		野球場		件数		人数		件数		人数		件数		人数		岩名		上座		件数	人数		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
4	491	3,353	26	2,013	0	0	220	2,379	245	1,250	23	396	53	632	12	392	10	250	0	0	0	1,080												10,665		
5	408	2,259	26	2,650	6	310	199	3,076	213	1,134	10	940	52	610	7	195	17	400	0	0	0	932											11,264			
6	517	3,438	35	2,411	9	465	165	1,795	241	1,164	13	493	55	607	14	501	23	580	0	0	0	1,063											10,989			
7	584	3,550	54	3,052	9	466	195	2,150	276	1,391	24	359	57	697	16	513	26	569	1,266	2,633		1,232											16,180			
8	716	4,352	56	3,111	4	62	167	2,944	285	1,173	24	630	56	544	10	378	22	462	4,885	8,290		1,336											26,769			
9	529	3,453	36	2,617	6	305	191	3,817	256	1,377	19	829	56	612	9	292	18	480	0	0	0	1,114											13,477			
10	445	3,047	22	1,311	6	131	185	8,192	255	1,340	19	497	56	583	14	459	20	395	0	0	0	1,016											15,824			
11	438	2,821	17	2,281	0	0	130	2,651	223	1,307	21	571	58	812	9	356	23	588	0	0	0	919											11,387			
12	521	3,129	6	2,400	0	0	111	1,569	201	924	1	80	47	487	11	409	15	388	0	0	0	913											9,386			
1	522	3,037	0	0	0	0	116	2,131	242	1,277	0	0	46	569	6	260	11	295	0	0	0	943											7,569			
2	560	3,238	0	0	0	0	152	2,021	255	1,363	0	0	53	641	16	556	16	366	0	0	0	1,052											8,185			
3	625	4,229	30	2,129	0	0	190	9,257	235	1,033	16	236	58	680	13	418	15	338	0	0	0	1,182											18,320			
合計	6,356	39,906	308	23,975	40	1,739	2,021	41,982	2,927	14,733	170	5,031	647	7,474	137	4,729	216	5,111	6,151	10,923		12,782											160,015			

学 校 開 放 数

	全 体	志津地区	白井・ 千代田地区	佐倉地区	南部地区	備 考
小学校	23	8	6	4	5	
中学校	11	4	3	2	2	
高等学校	3	1	0	1	1	
大 学	1				1	

地区	小学校名	体育館面積 (㎡)	校庭面積 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
志津地区	上志津小	740	7,825	425	
	志津小	1,011	11,270	425	
	下志津小	704	10,270	400	
	南志津小	1,041	9,975	425	H18改築
	井野小	749	26,653	425	
	西志津小	749	13,067	425	
	小竹小	851	11,819	375	
	青菅小	1,064	17,020	425	
白井 地・ 区千代田	白井小	611	14,562	425	
	印南小	749	11,294	425	
	千代田小	749	9,661	425	
	間野台小	977	9,421	425	
	王子台小	960	9,351	425	
	染井野小	1,060	15,417	425	
	佐倉小	1,191	8,750	300	
佐倉地区	内郷小	740	10,223	375	
	佐倉東小	760	6,661	425	
	白銀小	1,000	10,992	220	H16新築
	根郷小	1,232	9,351	425	
南部地区	和田小	726	10,091	400	H18変更
	弥富小	751	9,451	425	
	寺崎小	932	13,319	425	
	山王小	1,076	12,517	425	
	計	20,423	268,960	9,295	

地区	中学校名	体育館面積 (㎡)	校庭面積 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
志津	志津中	1,097	13,331	400	
	上志津中	1,573	12,569	375	H17改築
	井野中	1,553	24,991	475	
	西志津中	1,151	12,894	425	
千白 代井 田・	白井中	990	12,592	425	
	白井西中	1,284	28,187	425	
	白井南中	1,459	18,118	425	H18変更
佐倉	佐倉中	1,499	15,726	475	
	佐倉東中	1,229	13,932	425	
南部	南部中	1,585	34,120	400	
	根郷中	1,573	13,886	425	
	計	14,993	200,346	4,675	

平成19年10月末

平成18年度 学校開放利用状況

平成19年3月31日現在

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用件数(体育館)		1,038	1,184	1,004	977	1,010	953	948	934	890	795	780	725	11,238
利用人数(体育館)		25,715	28,985	24,167	22,923	24,660	24,019	23,055	22,048	25,922	26,050	24,950	22,740	295,234
利用件数(運動場)		306	365	406	320	229	216	215	210	170	162	132	152	2,883
利用人数(運動場)		12,755	14,106	15,442	16,281	14,747	10,214	10,172	8,872	3,253	2,253	2,121	2,930	113,146
総利用件数		1,344	1,549	1,410	1,297	1,239	1,169	1,163	1,144	1,060	957	912	877	14,121
総利用人数		38,470	43,091	39,609	39,204	39,407	34,233	33,227	30,920	29,175	28,303	27,071	25,670	408,380
有料件数(内数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

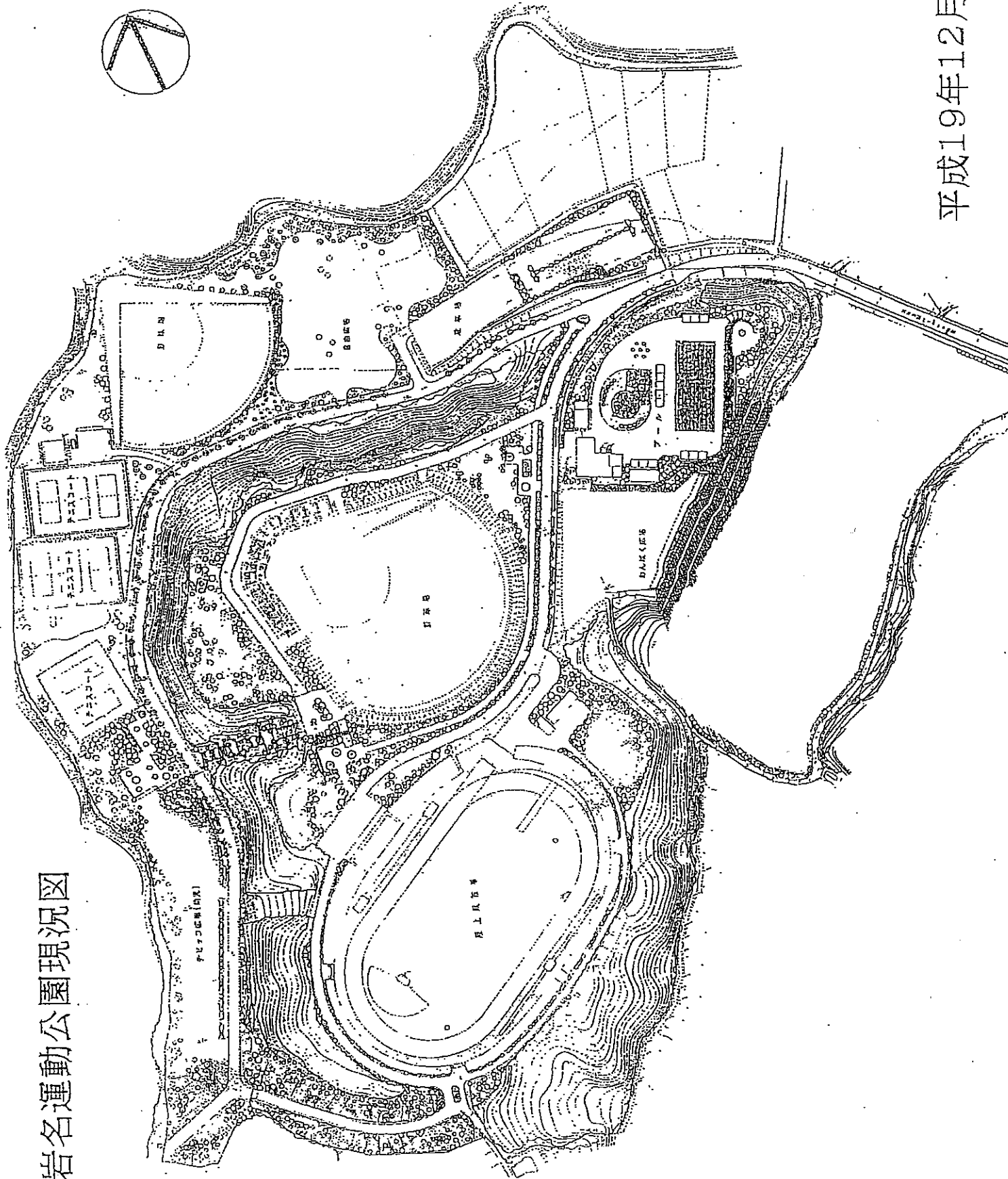
曜日別利用件数

平日	校庭	2	56	52	8	9	2	0	0	0	0	2	3	134
土曜日	体育館	595	644	570	545	565	536	541	526	465	432	413	474	6,306
	校庭	141	146	164	147	104	103	102	100	65	55	50	80	1,257
	体育館	262	320	261	253	261	248	242	237	240	231	220	225	3,000
日曜日・休日	校庭	163	166	190	165	116	111	113	110	75	70	59	72	1,410
	体育館	181	217	176	179	184	169	170	166	184	169	170	166	2,131

スポーツ種目別開放件数

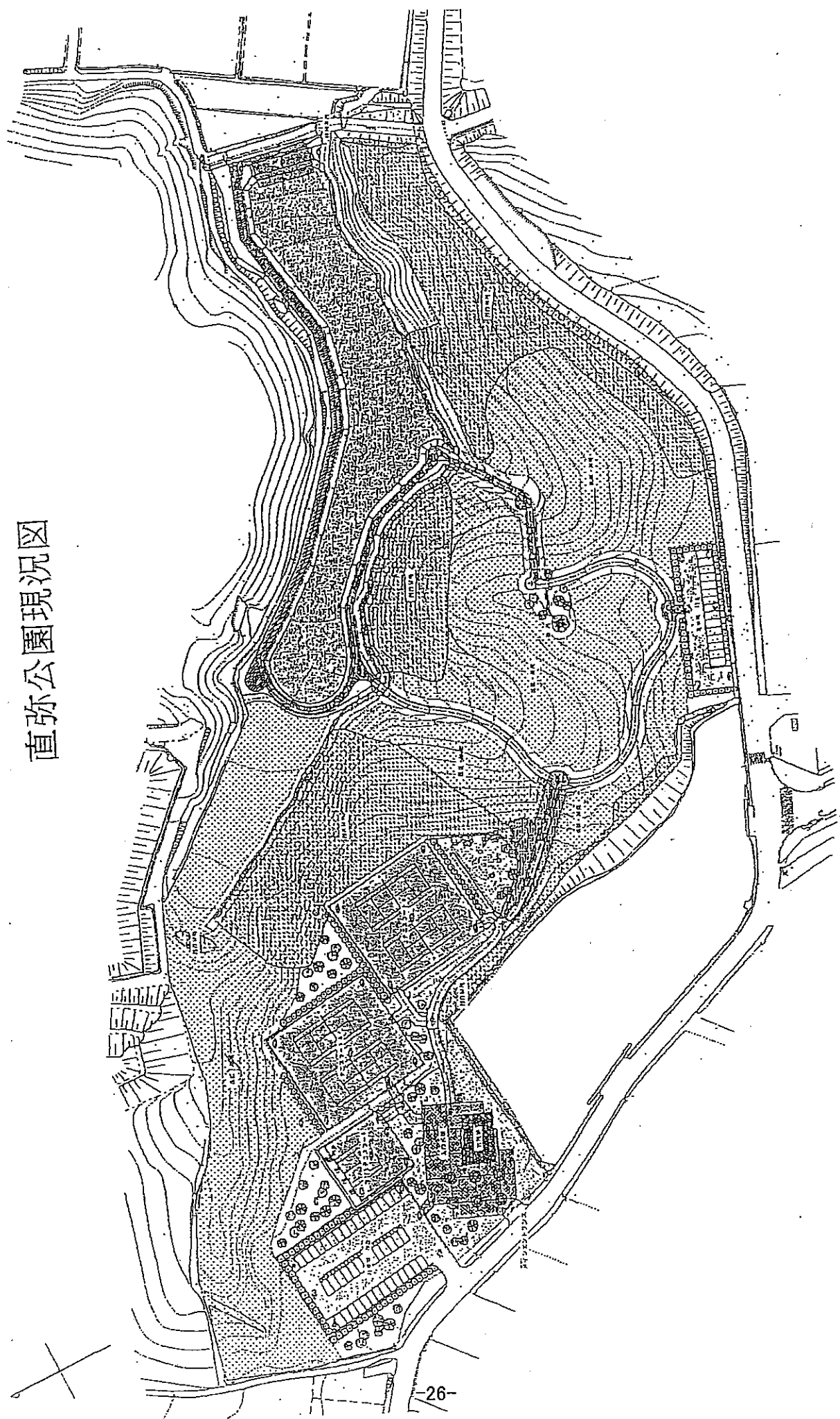
野球	210	211	247	214	154	150	153	147	75	67	62	65	1,755
サッカー	118	125	121	107	88	86	87	83	36	37	32	30	950
バスケットボール	179	189	162	178	189	170	166	168	201	218	200	198	2,218
バレーボール	332	380	326	302	308	297	300	298	407	390	383	465	4,188
バドミントン	48	53	48	42	44	40	41	40	66	64	60	80	626
剣道	56	69	57	58	62	58	58	60	78	72	73	77	778
卓球	31	37	29	29	29	29	28	28	42	60	55	58	455
新体操	34	40	36	35	35	31	31	29	47	55	52	49	474
空手	68	83	70	69	72	65	66	62	45	38	32	28	698
フットサル	26	33	28	30	29	27	27	27	55	60	45	35	422
その他(校庭)	33	92	90	46	34	22	23	18	15	7	8	9	397
その他(体育館)	209	237	196	187	195	194	188	179	45	25	22	31	1,708

岩名運動公園現況図



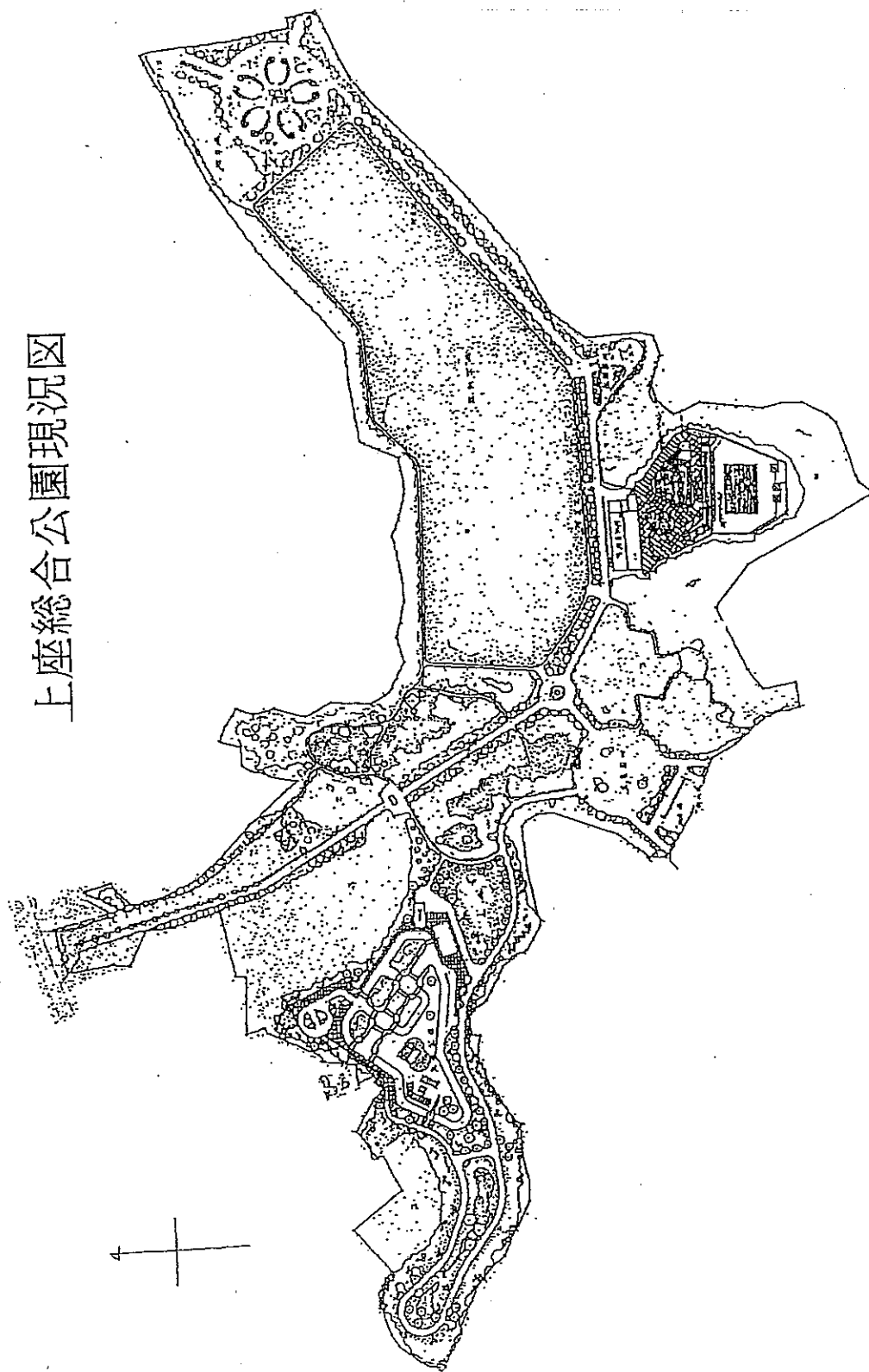
平成19年12月現在

直弥公園現況図



平成19年12月現在

上座総合公園現況図



平成19年12月現在